

「いずみ会」はいずみ会規約に沿って、令和2年度事業計画に従い次の事業を実施した。

第1. 定時評議員会

いずみ会の最高議決機関である定時評議員会を令和2年5月10日～31日に書面審議の形式で開催した。出席評議員は期日までに返信のあった253名（議決権行使：154名、代理人に委任：19名、議長委任：80名）となり、「いずみ会規約13条」に基づく定足数175を上回り評議員会は成立した。書面審議での開催動議及び議長・議事録署名人2名の選出においては、賛成172名と議長委任80名で承認された。上程された令和元年度事業報告及び令和2年度事業計画案は賛成多数で承認された。

第2. 理事会、監査会等の活動

令和2年度は、理事会を7回（書面開催1回を含む）及び監査会を2回（書面開催1回を含む）開催した。本年度より密な情報交換を目的とした部長会を開催し、4回（内3回はZOOMによるウェブ会議形式）実施した。

第3. 会報の発行、広報活動の充実

1. 会報いずみ第64号を令和2年10月1日に発行した。主な記事は次の通りである。

- ・新役員及び退任役員の紹介
- ・70期新成人の集い開催報告（令和2年1月13日開催）
- ・令和2年度評議員会報告
- ・令和元年度母校職業講話実施報告（令和2年2月26日実施）
- ・各期同期会実施報告（8期、10期、14期、16期、20期、26期）
- ・令和3年度から会報発送対象者変更のお知らせ

2. ホームページ (<http://www.izumikai.com/>)

新型コロナの影響でいずみ会活動が中止となる中、会員からの投稿、人材バンク部との連携等により、従来より充実した情報発信が行えた。

- ・投稿記事：学生時代の回顧録、研究実績紹介、旧榛名寮への紀行、等
連載コラムの開始（医療関係）
- ・動画紹介：職業講話開催、母校の桜等季節情景、会員の活動、等

第4. 総会

新型コロナウイルスの影響で開催を中止した。

第5. いずみ会の活性化

本年度はコロナ禍の中で活性化につながる対面活動は全て実施できなかった。

会報に同封の返信はがき（378通）やWeb投稿（93件）を通じて会員の方々からの情報を収集した。

第6．財政管理

- 1．支出は予算に対し1,138千円の減額となり、前年度比90%となった。
- 2．入会金は母校の協力を得られ193名の新会員が納入した。
- 3．収入は予算に対し222千円の増額となり、前年度比で108%となった。
- 4．収入面では会費納入者の増加や寄付金の増収による増加、支出面では多くの会合の中止・学校活動の自粛の影響による減少により、年度収支の赤字幅は縮小した。
- 5．3年間に渡る「対象期を限定したコンビニ振込みの試行」について、費用対効果が得られず打ち切りを決定した。

第7．会員情報の整備

- 1．本年3月に会員情報部会を開催し各期会員情報部幹事の確認、積極的な会員情報活動および「個人情報取扱規定」の徹底をお願いする予定であったが、コロナ禍のため中止となった。
- 2．「高校73期の名簿」を作成し、新会員へ配布した。

第8．母校・PTA及び「同窓会の輪」との連携

- 1．母校の発展に寄与するため、中学3年生対象の職業講話（講師2名）を本年2月に開催した。
- 2．令和3年1月に「71期の新成人の集い」を企画、71期代表者との2回の打合せにより案内状を発送したが、緊急事態宣言下において中止を余儀なくされた。
- 3．令和3年3月の「いずみ会入会式」はコロナ禍のため不参加となったが、10月28日に事前入会説明会を3年生全員を対象に開催した。
- 4．卒業生全員に記念品を、皆勤賞受賞者19名に副賞を贈呈した。
- 5．PTAとの連携及び「同窓会の輪」はコロナ禍の中で活動は中止した。

第9．人材バンク活動

- 1．多彩な人材の発掘と人材バンク登録（本年度登録者数37名、うち23名が新規、中でも50期以降の若手が7名も登録）を行い、職業講話に活用した。
- 2．会員相互の交流を促進するため、主に人材バンク登録者を対象にホームページや会報への寄稿をお願いした。

第10．将来に向けての運営システムの改革

コロナ禍における理事会、監査会について、書類審議やZOOMを利用したウェブ会議形式での会合を導入することにより、必要な審議とともにタイムリーな情報交換を可能とした。

以上